

平成30年度 遺物展示・パネル展・埋蔵文化財講座

# 古代エミシ社会の南北交流を考える

—古墳文化と続縄文文化の接触—



## 【関連講座開催のお知らせ】

◆日時 平成30年12月16日(日) 13時00分～16時00分

◆会場 滝沢市埋蔵文化財センター 研修室

13:00～13:10 開会

13:10～14:10 講演Ⅰ「アジアのなかの古代東北・北海道—続縄文文化をめぐる倭国と北東アジア—」

養島栄紀氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)

14:20～15:10 講演Ⅱ「古代エミシ社会の南北交流—古墳文化と続縄文文化の接点」

宇部則保氏(八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館)

15:20～15:50 講演Ⅲ「東北地方の続縄文文化—そもそも“続縄文”とは何か」

木村高氏(青森県埋蔵文化財調査センター)

15:50～16:00 質疑応答・閉会

**※入場無料、事前申し込み不要**

【日時】平成30年12月8日(土)～平成31年3月24日(日)

午前9時から午後4時30分

【会場】滝沢市埋蔵文化財センター  
ロビー・展示室

(岩手県滝沢市湯舟沢327-13)

【お問い合わせ先】

滝沢市埋蔵文化財センター

〒020-0617

岩手県滝沢市湯舟沢327-13

TEL 019-694-9001 FAX 019-694-9007

Email maibun@city.takizawa.iwate.jp

滝沢市には、北海道地方の続縄文時代の遺構・遺物と南東北・東海地方の古墳時代の遺物が多数出土しており、この地域は古くから南北交流の接触の場と考えられています。

今回の展示では、滝沢市の古墳時代4～7世紀の続縄文時代と古墳時代の遺物を展示、同時期の遺跡を写真パネルにて紹介します。

## 12月16日（日）講演 講師紹介



葺島栄紀 氏

（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授）

1972年神奈川県生まれ。

古代日本の北方史、北東アジア史、アイヌ史を研究。

著作に『「もの」と交易の古代北方史』（勉誠出版、2015年）など



宇部則保 氏

（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館）

1957年岩手県久慈市生まれ。

北東北の古代土器、集落を研究。

著作に「北縁の蝦夷社会」『蝦夷と城柵の時代』（吉川弘文館、2015年）など



木村高 氏

（青森県埋蔵文化財調査センター）

1966年青森県三戸町生まれ。

東北地方の続縄文、古墳時代を研究。

著作に「東北地方の続縄文文化」『講座日本の考古学 古墳時代上』（青木書店、2011年）など



仏沢Ⅲ遺跡出土 後北 C2-D 式土器

## 展示構成

- (1) 仏沢Ⅲ遺跡出土 後北 C2-D 式土器 展示
- (2) 仏沢Ⅲ遺跡出土 古墳時代の土器 展示
- (3) 大石渡遺跡出土 後北 C2-D 式土器 展示
- (4) 大石渡Ⅴ遺跡出土 後北 C2-D 式土器 展示
- (5) 大石渡Ⅴ遺跡出土 古墳時代の土器 展示
- (6) 大石渡Ⅴ遺跡出土 赤穴式土器 展示
- (7) 大釜館遺跡出土 宇田型甕
- (8) 大釜館遺跡出土 宇田型甕解説パネル
- (9) 高柳遺跡出土 北大Ⅲ式土器
- (10) 高柳遺跡出土 古墳時代後期の土器 展示 その他



高柳遺跡出土 北大Ⅲ式土器

## 会場案内図